



あなたの、いちばんであるために。

やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

中小企業景況レポート 2025 年 4～6 月期 No.70

2025.7.15 発刊

■ 調査要領 ■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社

2. 調査時期・期間

調査時期：2025年6月2日～6日

調査期間：今期実績 2025年4月～6月

来期見通し 2025年7月～9月

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

D I を中心に分析

5. 特別調査

①「5 年後（2030 年）以降を見据えた中長期的な経営について」

②「米国の新たな関税措置に起因する影響について」

■ 調査対象と回答状況 ■

業 種	企 業 数	回 答 数	回 答 率
製 造 業	28	26	92.9%
卸 売 業	15	14	93.3%
小 売 業	17	17	100.0%
サービス業	26	26	100.0%
建 設 業	23	21	91.3%
不 動 産 業	11	11	100.0%
合 計	120	115	95.8%

※ D I（Diffusion Index）とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DI は50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝ ＋30となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業 況 判 断 D I

業 種	前 期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	D I	良い	悪い	D I
総 合	▲2.6	18.2	28.6	▲10.4	16.5	29.5	▲13.0
製 造 業	▲22.2	7.6	53.8	▲46.2	15.3	46.1	▲30.8
卸 売 業	▲6.7	21.4	21.4	0.0	14.2	21.4	▲7.2
小 売 業	▲6.2	11.7	29.4	▲17.7	11.7	29.4	▲17.7
サービス業	▲7.7	30.7	19.2	11.5	19.2	19.2	0.0
建 設 業	14.3	28.5	19.0	9.5	19.0	28.5	▲9.5
不動産業	36.4	0.0	18.1	▲18.1	18.1	27.2	▲9.1

業 種 別 景 気 天 気 図

業 種	前 期	今 期	見 通 し
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サービス業			
建 設 業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区67社、東部地区30社、相模原周辺地区18社

31以上	11～30	10～▲10	▲11～▲30	▲31以下

概 況

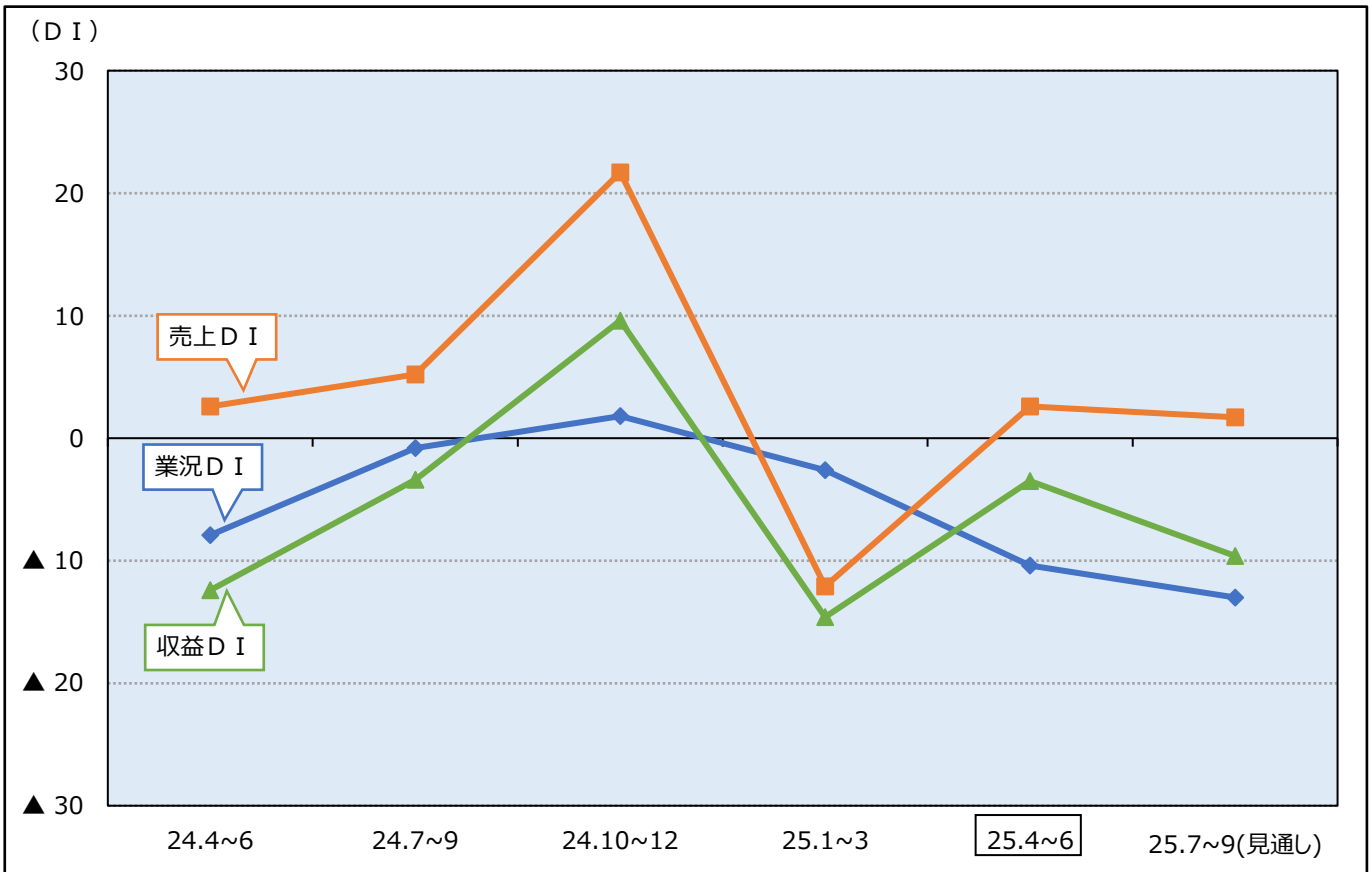
<業況・売上・収益>

今期（4～6月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（1～3月、以下同じ。）▲2.6から▲10.4と、7.8ポイント悪化（前年同期比2.5ポイント悪化）しました。売上D Iは同▲12.1から2.6と、14.7ポイント改善（同比横這い）、収益D Iは同▲14.6から▲3.5と、11.1ポイント改善（同比8.9ポイント改善）しました。

来期（7～9月、以下同じ。）をみると、業況D Iは▲10.4から▲13.0と、今期実績比2.6ポイント悪化の見通しとなりました。売上D Iは同2.6から1.7と、同比0.9ポイント悪化、収益D Iは同▲3.5から▲9.6と、同比6.1ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

	24.4～6	24.7～9	24.10～12	25.1～3	25.4～6	25.7～9 見通し
業 況 D I	▲7.9	▲0.8	1.8	▲2.6	▲10.4	▲13.0
売 上 D I	2.6	5.2	21.7	▲12.1	2.6	1.7
収 益 D I	▲12.4	▲3.4	9.6	▲14.6	▲3.5	▲9.6

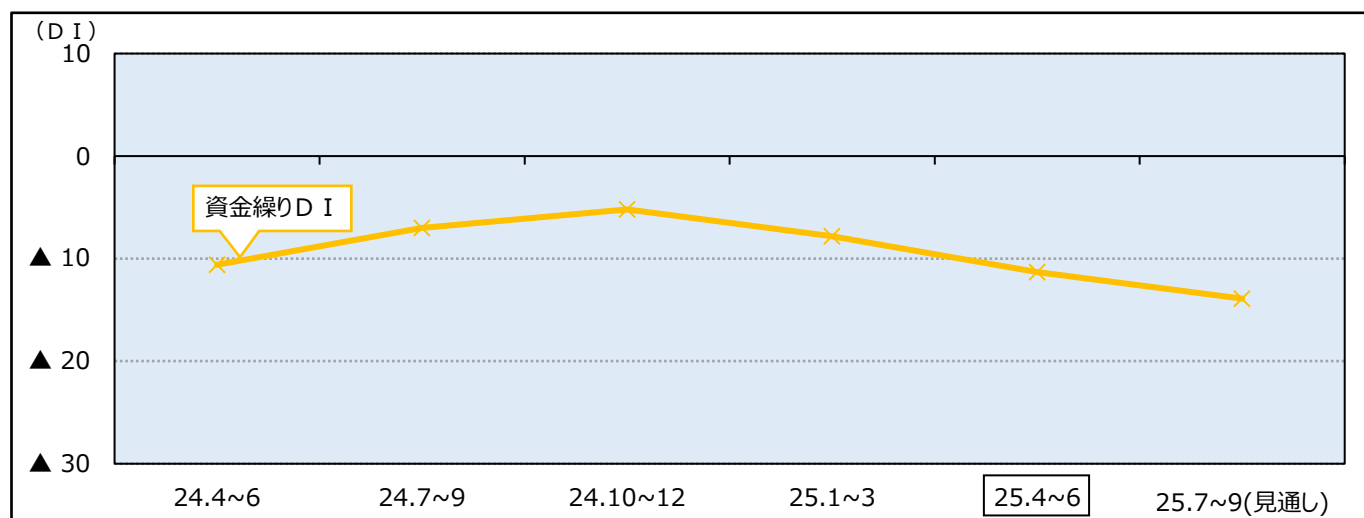


<資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲7.8から▲11.3と、3.5ポイント悪化（前年同期比0.7ポイント悪化）しました。また、来期は▲13.9と、今期実績比2.6ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

	24.4～6	24.7～9	24.10～12	25.1～3	25.4～6	25.7～9 見通し
資 金 繰 り D I	▲10.6	▲7.0	▲5.2	▲7.8	▲11.3	▲13.9



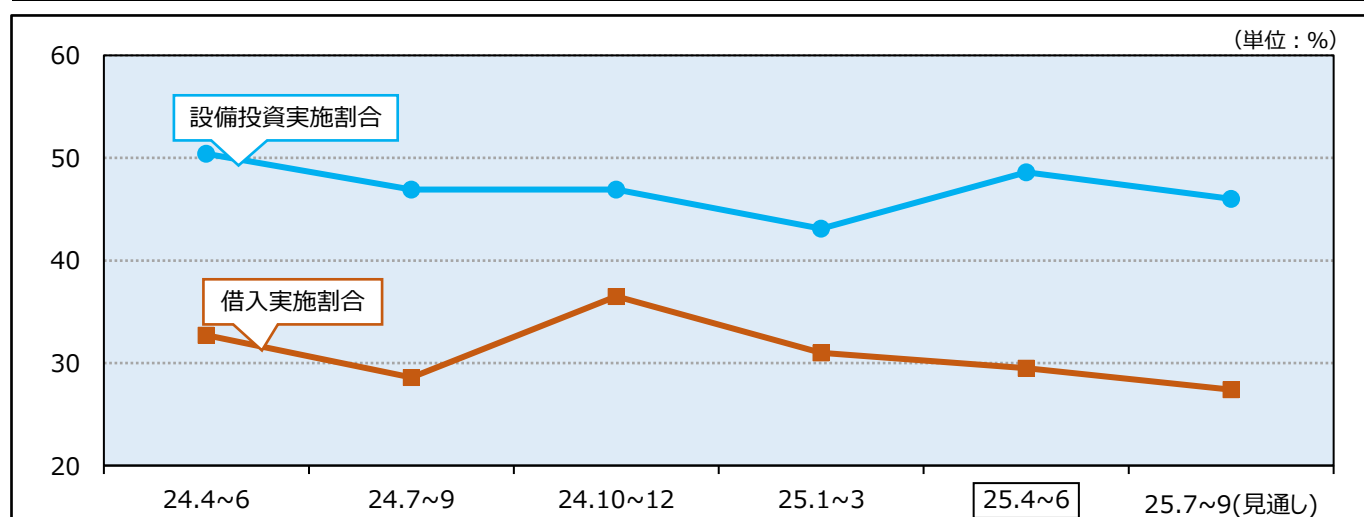
<設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期43.1%から48.6%と、前期比5.5ポイント上昇（前年同期比1.8ポイント低下）となりました。また、来期は46.0%と、今期実績比2.6ポイントの低下が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期31.0%から29.5%と、前期比1.5ポイント低下（前年同期比3.2ポイント低下）しました。また、来期は27.4%と、今期実績比2.1ポイントの低下が見込まれます。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

	24.4～6	24.7～9	24.10～12	25.1～3	25.4～6	25.7～9 見通し
設備投資実施割合	50.4%	46.9%	46.9%	43.1%	48.6%	46.0%
借 入 実 施 割 合	32.7%	28.6%	36.5%	31.0%	29.5%	27.4%



製造業

■ 主要D Iの推移 ■

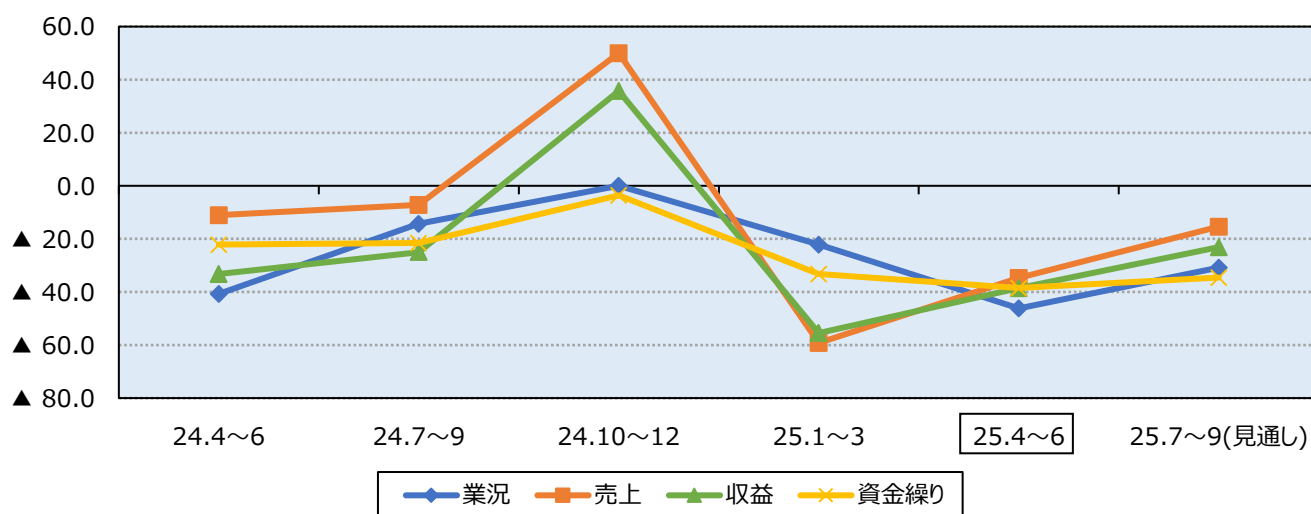
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲40.7	▲22.2	▲46.2	▲30.8
売 上	▲11.1	▲59.2	▲34.7	▲15.4
収 益	▲33.3	▲55.5	▲38.5	▲23.1
資 金 繰 り	▲22.2	▲33.3	▲38.5	▲34.6

【今期】

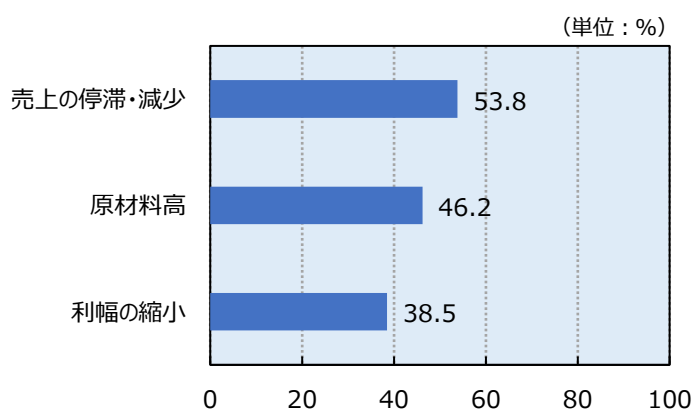
前期比で、業況D Iと資金繰りD Iが悪化、売上D Iと収益D Iが改善しました。前年同期比では、すべてのD Iが悪化しました。

【来期】

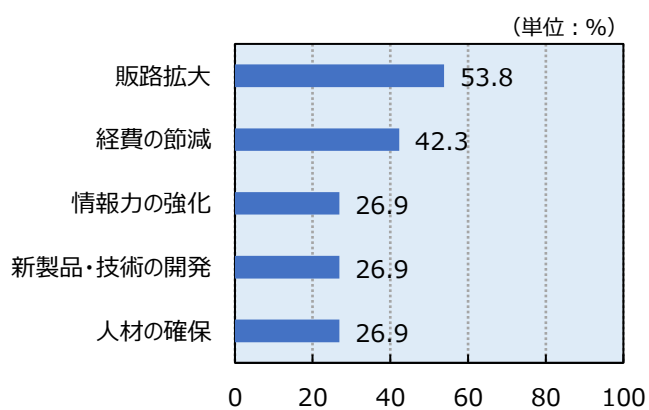
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○米国の関税措置の影響による生産調整に伴い、受注量が減少している。（精密板金・加工部品）

○地金の高騰による影響が大きく、価格転嫁が追いついていない。（貴金属）

卸 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

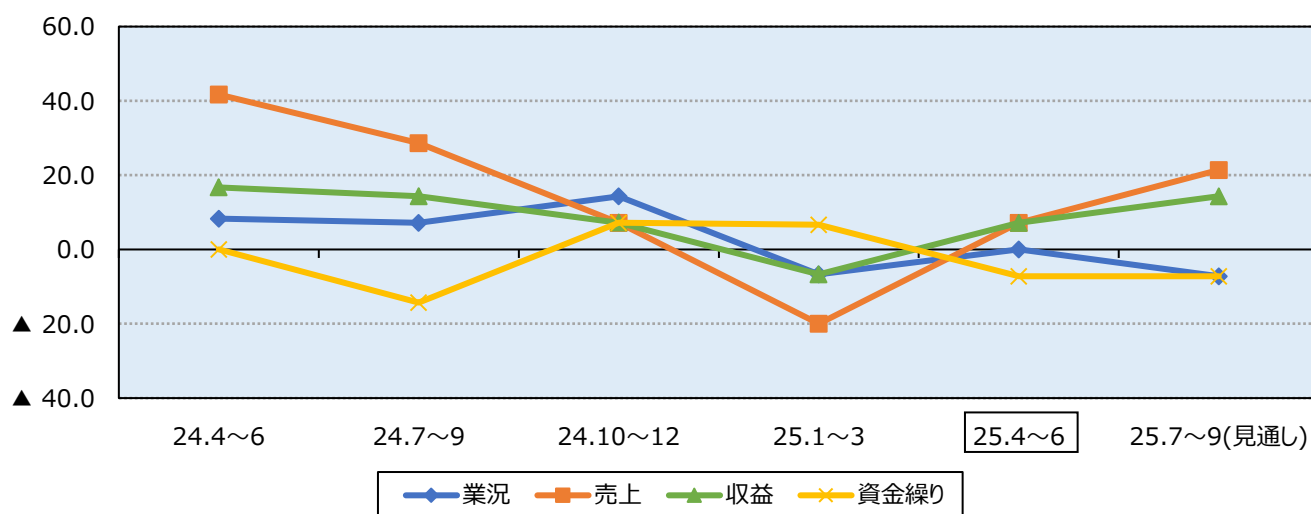
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	8.3	▲6.7	0.0	▲7.2
売 上	41.7	▲20.0	7.2	21.4
収 益	16.7	▲6.7	7.2	14.3
資 金 繰 り	0.0	6.7	▲7.2	▲7.2

【今期】

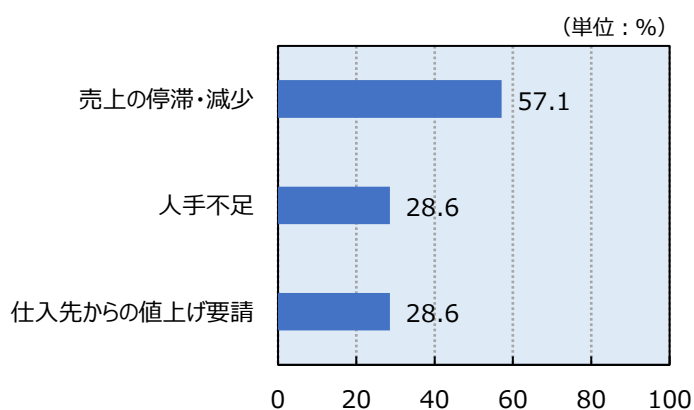
前期比で、資金繰りD Iを除いて改善しました。前年同期比では、すべてのD Iが悪化しました。

【来期】

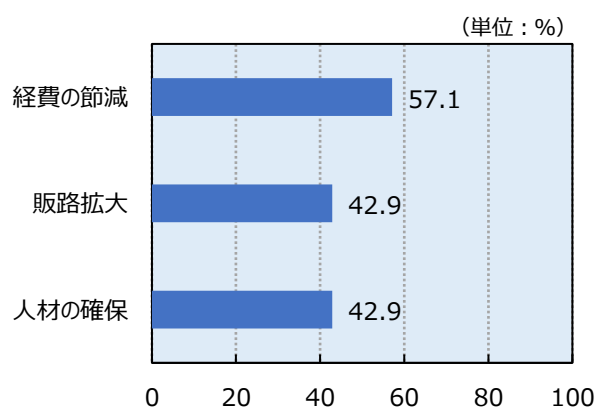
今期実績比で、業況D Iが悪化、売上D Iと収益D Iが改善、資金繰りD Iが横這いの見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○配達員が不足しており、若手の人材確保に注力している。（食品）

○仕入先の不況や廃業が続いており、ビジネスマッチング等を通じて販路拡大を図っている。（乾物）

小 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

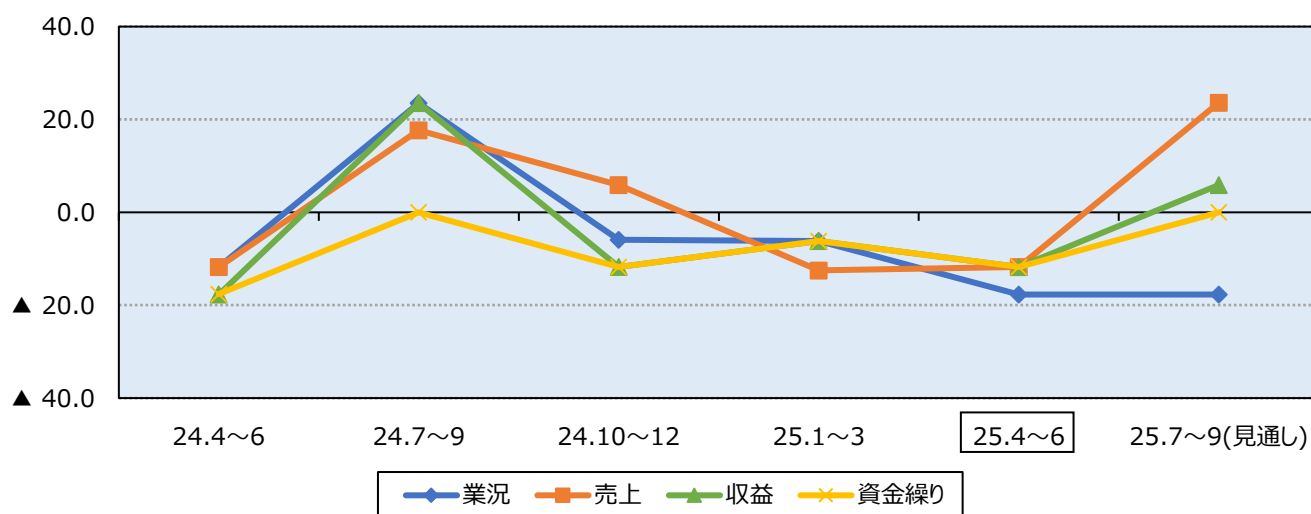
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲11.8	▲6.2	▲17.7	▲17.7
売 上	▲11.8	▲12.5	▲11.8	23.6
収 益	▲17.7	▲6.2	▲11.8	5.9
資 金 繰 り	▲17.6	▲6.2	▲11.8	0.0

【今期】

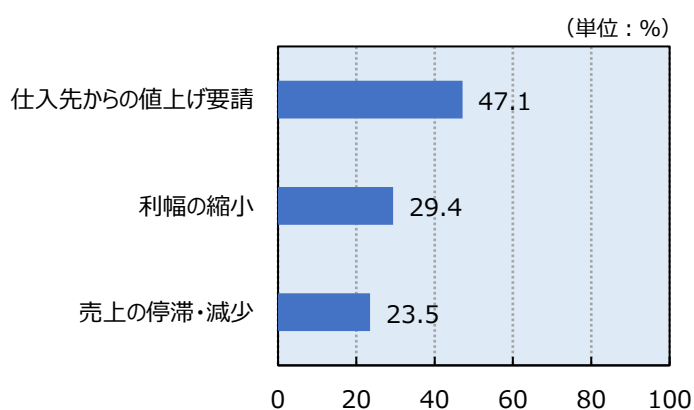
前期比で、売上D Iを除いて悪化しました。前年同期比では、業況D Iが悪化、売上D Iが横這い、収益D Iと資金繰りD Iが改善しました。

【来期】

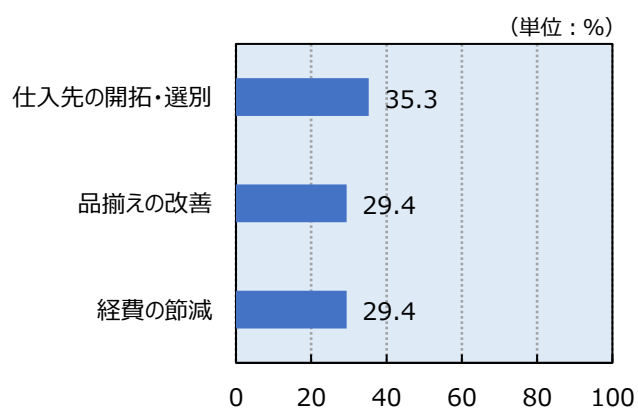
今期実績比で、業況D Iを除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○大型店の出店により、同業者間の競争激化が予想される。(ガソリン)

○例年売り上げが落ちる夏季に向けた新商品を開発する予定である。(洋菓子)

サービス業

■ 主要D Iの推移 ■

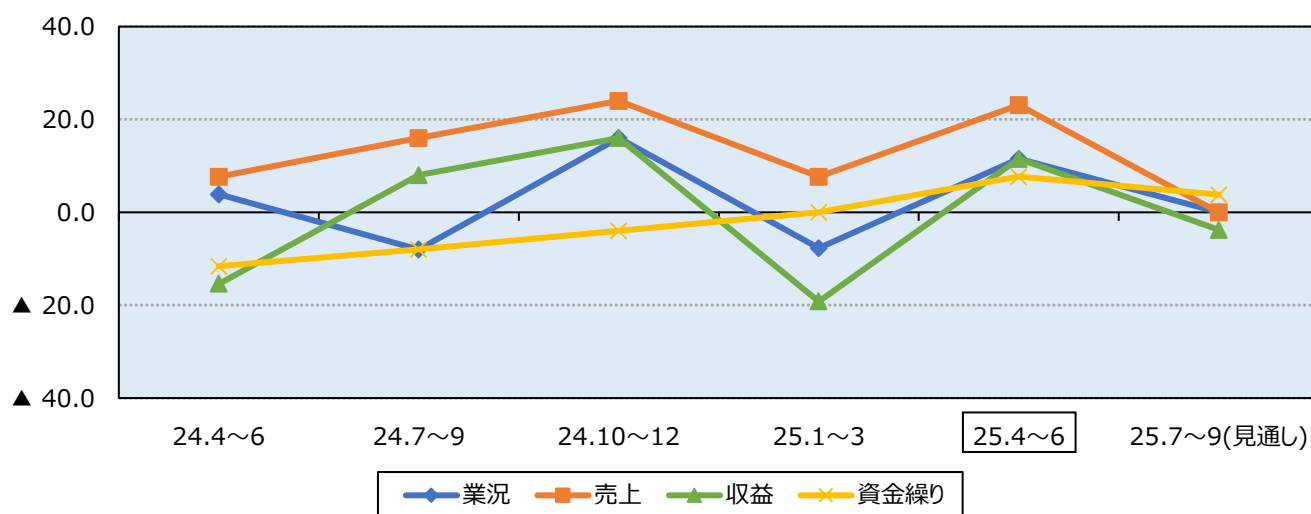
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	3.9	▲7.7	11.5	0.0
売 上	7.7	7.7	23.1	0.0
収 益	▲15.4	▲19.2	11.5	▲3.8
資 金 繰 り	▲11.6	0.0	7.7	3.8

【今期】

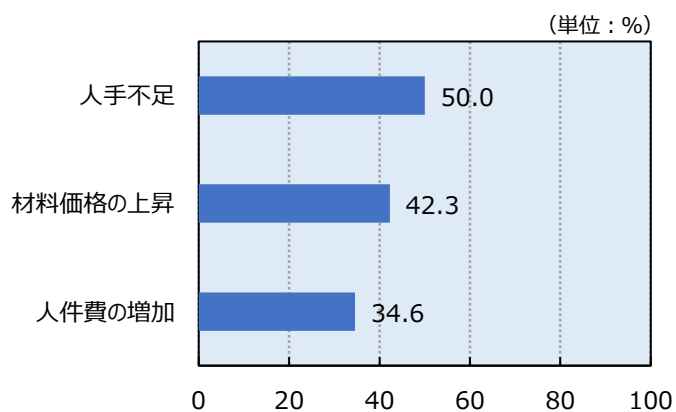
前期比および前年同期比で、すべてのD Iが改善しました。

【来期】

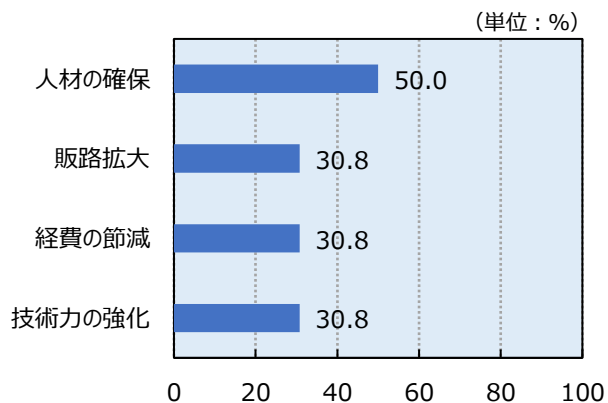
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○人員の確保に加えて人件費やその他経費の増加への対応に苦慮している。(遊技場)

○宿泊客の減少が続いており、インバウンドの取り込みを増やすべく検討中である。(宿泊)

建設業

■ 主要D Iの推移 ■

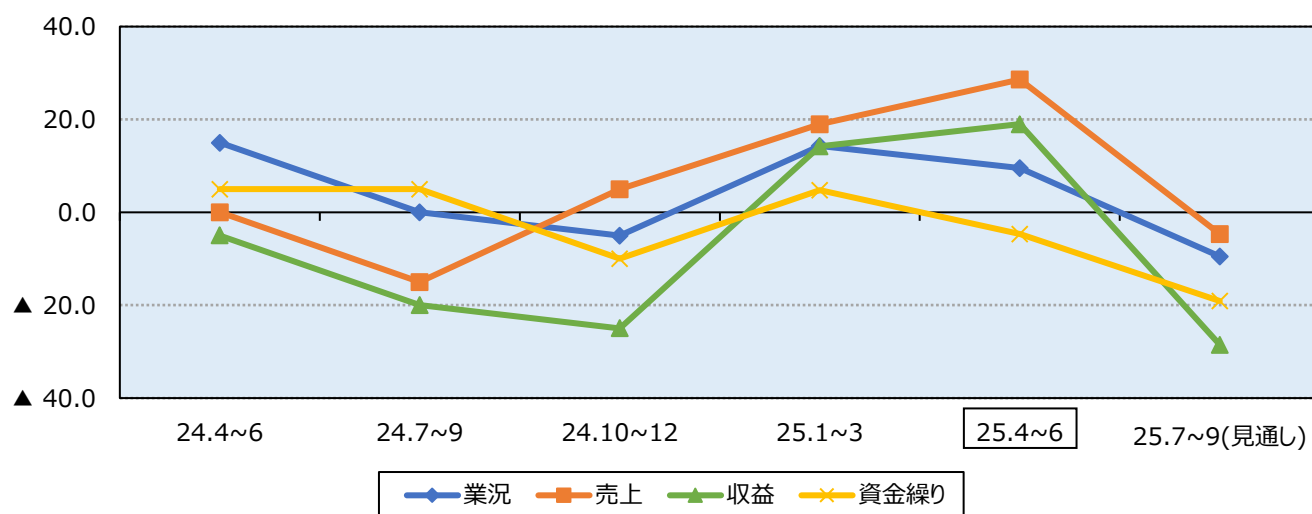
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	15.0	14.3	9.5	▲9.5
売 上	0.0	19.0	28.6	▲4.7
収 益	▲5.0	14.2	19.0	▲28.5
資 金 繰 り	5.0	4.8	▲4.7	▲19.1

【今期】

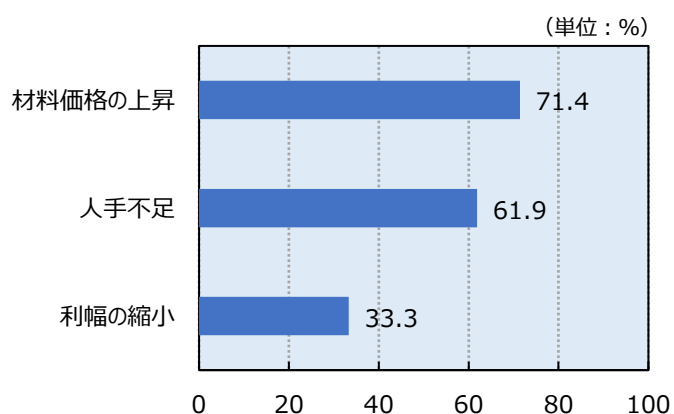
前期比および前年同期比で、業況D Iと資金繰りD Iが悪化、売上D Iと収益D Iが改善しました。

【来期】

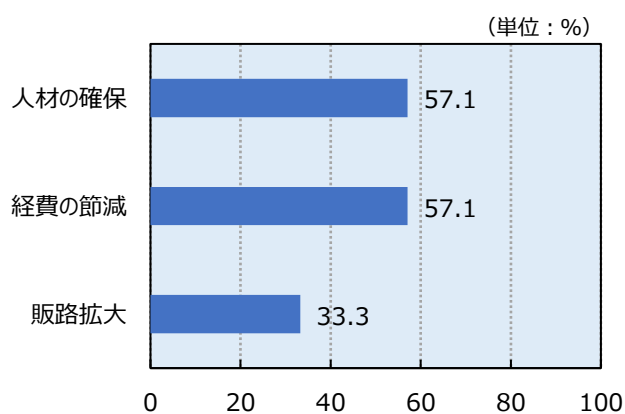
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○四半期または半期ごとに材料が値上がりしており、価格転嫁に苦慮している。（建築工事）

○米国の関税措置に伴う仕入れコストの上昇に備え、販管費等の見直しを検討している。（土木工事）

不動産業

■ 主要D Iの推移 ■

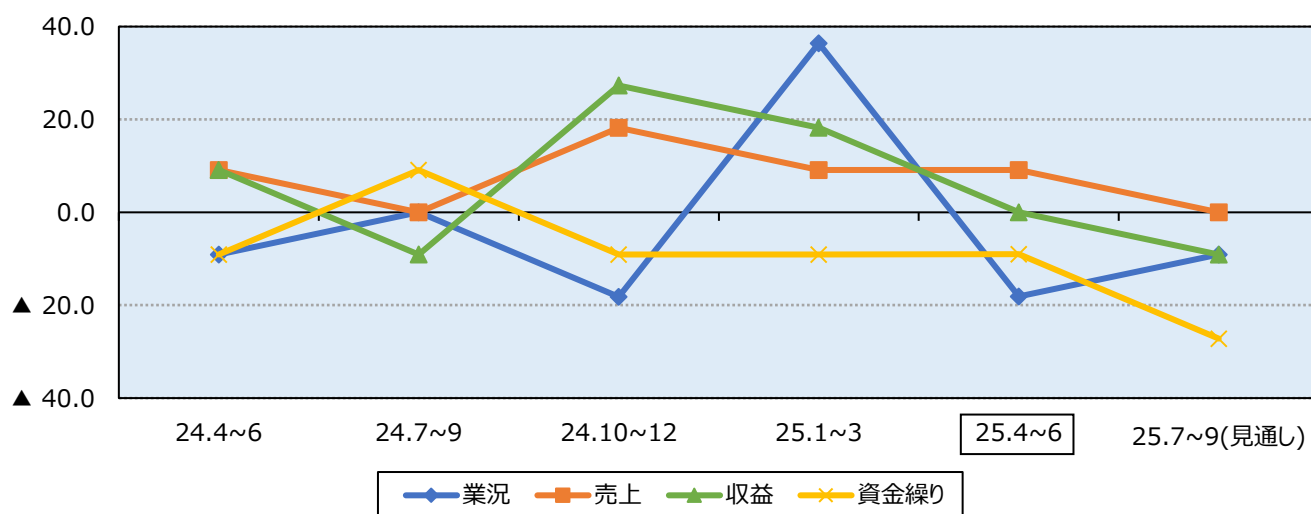
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲9.1	36.4	▲18.1	▲9.1
売 上	9.1	9.1	9.1	0.0
収 益	9.1	18.2	0.0	▲9.1
資 金 繰 り	▲9.1	▲9.1	▲9.0	▲27.2

【今期】

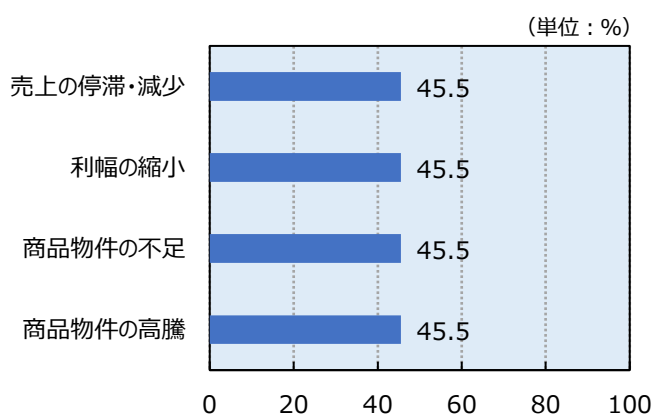
前期比および前年同期比で、業況D Iと収益D Iが悪化、売上D Iが横這い、資金繰りD Iが改善となりました。

【来期】

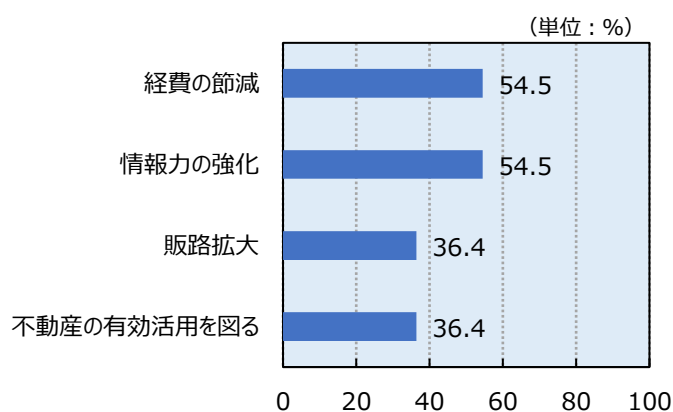
今期実績比で、業況D Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○商品物件の不足、建築費の高騰が今後の不安要素である。(不動産販売)

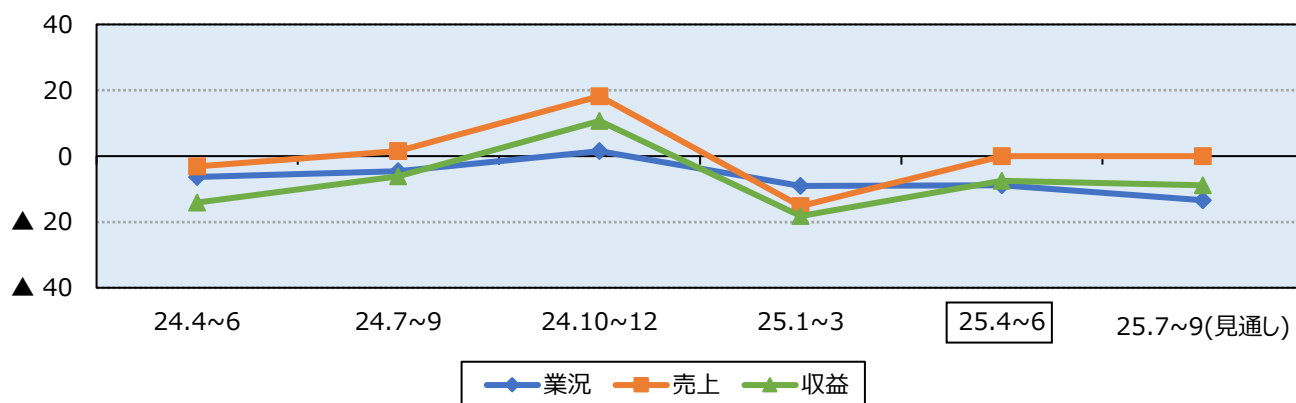
○インバウンド向けの民泊や飲食店向けの需要が高まっている。(不動産売買・賃貸)

＜地区別 D I の状況＞

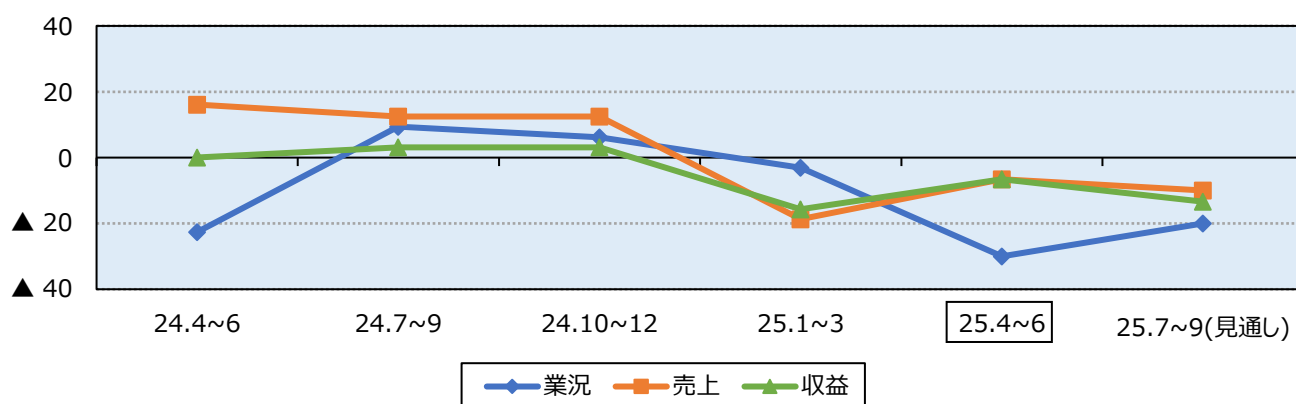
山梨県国中地区では、前期比ですべての D I が改善しました。東部富士五湖地区と相模原周辺地区では、ともに業況 D I が悪化し、収益 D I が改善しました。前年同期比では、東部富士五湖地区ですべての D I が悪化しました。山梨県国中地区と相模原周辺地区では、ともに売上 D I と収益 D I が改善しました。

来期見通しについては、相模原周辺地区で、すべての D I が今期実績比で悪化の見通しとなりました。山梨県国中地区では業況 D I と収益 D I、東部富士五湖地区では売上 D I と収益 D I が悪化の見通しとなりました。

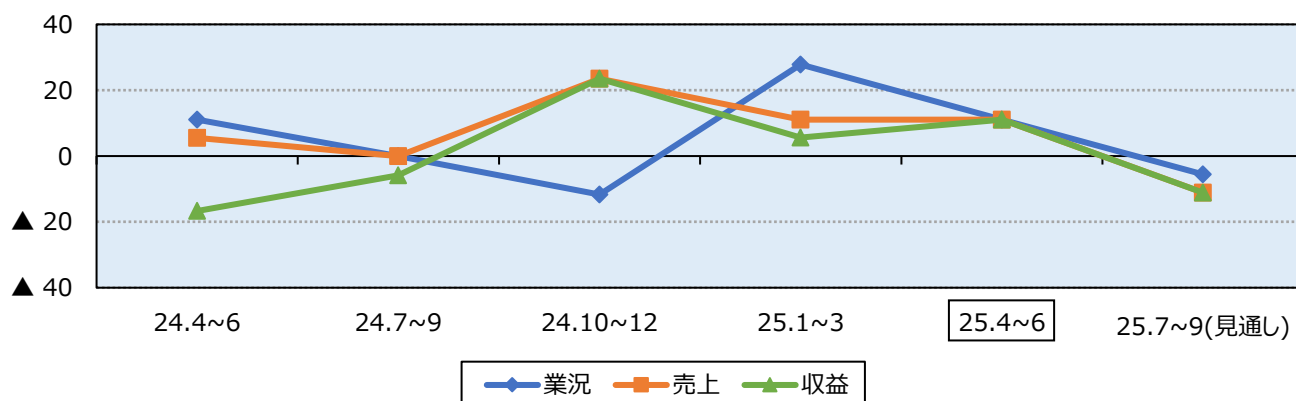
【 山梨県国中地区 D I の推移 】



【 東部富士五湖地区 D I の推移 】

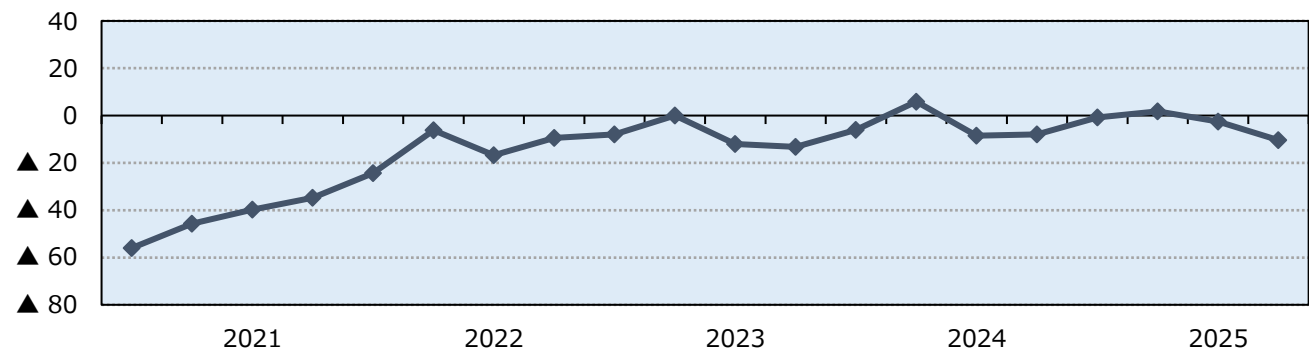


【 相模原周辺地区 D I の推移 】

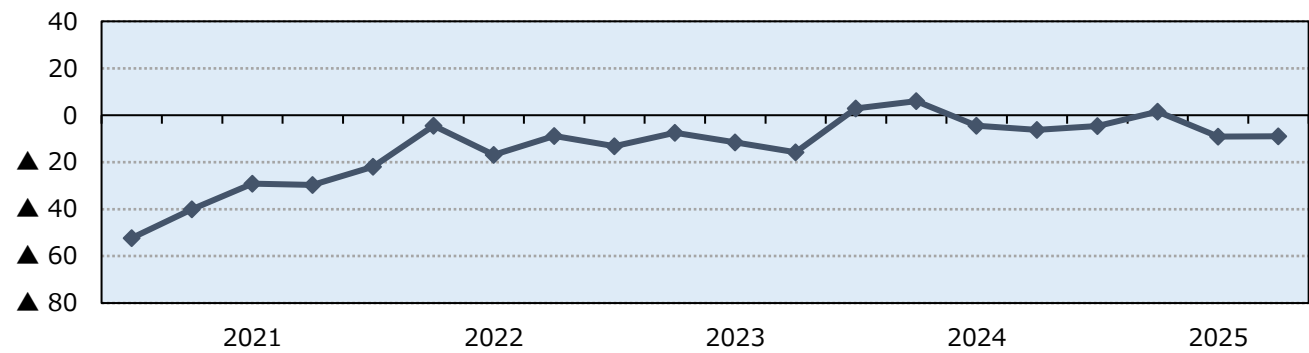


<業況D I の5年間の推移>

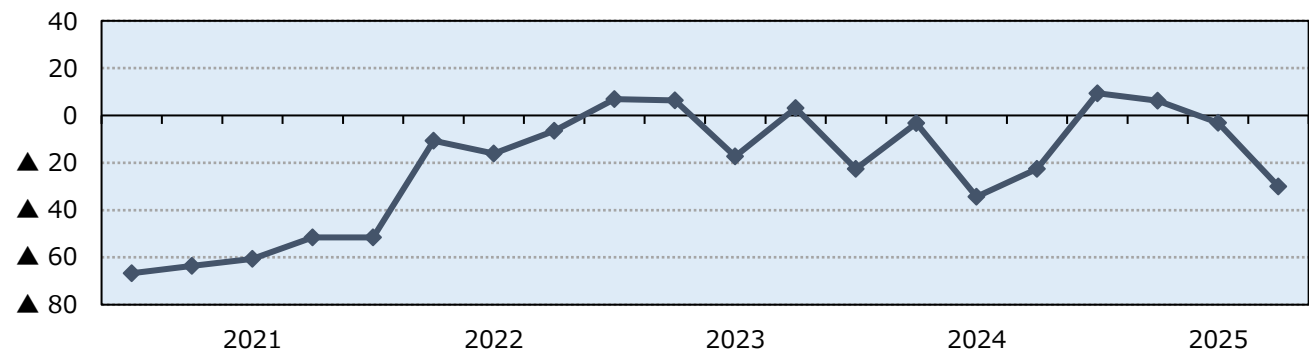
【 総合D I の推移 】



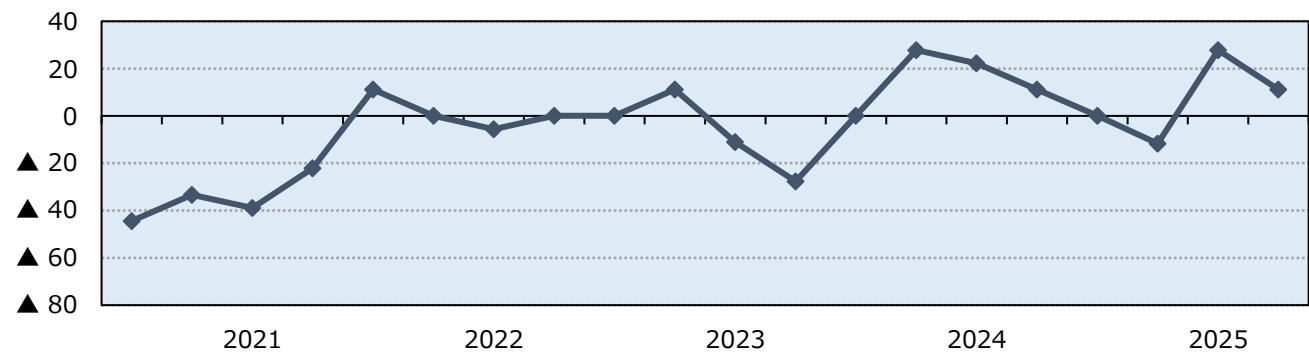
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】



【 相模原周辺地区D I の推移 】



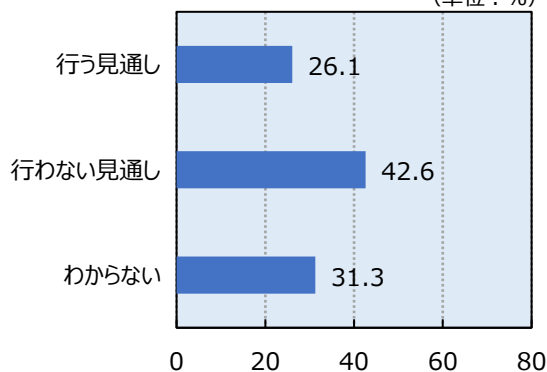
5 年後（2030 年）以降を見据えた中長期的な経営について （回答企業：115 社）

問 1 最低賃金について、現行の 1,055 円（全国加重平均）が仮に 1,500 円となった場合、貴社では雇用や労働時間の削減を行う見通しですか。また、貴社における雇用や労働時間以外に考えられる対応策についてお答えください。

- 最低賃金が仮に1,500円となった場合の雇用や労働時間の削減について、「行わない見通し」が42.6%と最も多く、次いで「わからない」が31.3%、「行う見通し」が26.1%となりました。
- 雇用や労働時間以外の対応策について、「販売価格を引き上げる」が36.5%と最も多く、次いで「特に対応は行わない」が22.6%、「経費（人件費以外）を引き下げる」と「わからない」がともに14.8%となりました。

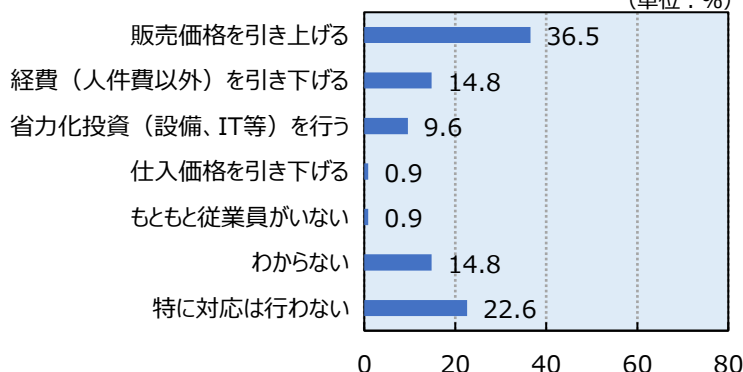
【雇用や労働時間の削減】

（単位：％）



【雇用や労働時間以外の対応策】

（単位：％）

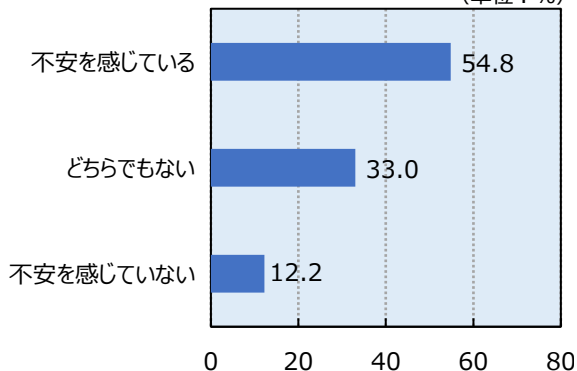


問 2 企業における社会保険料負担（適用範囲や納付額の上限）の増加が今後も見込まれますが、この流れについて、経営面でどの程度の不安を感じていますか。また、経営面への影響について考えられることをお答えください。

- 社会保険料増加の流れによる経営面で不安感について、「不安を感じている」が54.8%と最も多く、次いで「どちらでもない」が33.0%、「不安を感じていない」が12.2%となりました。
- 経営面への影響について、「賃金引上げの妨げになる」が36.5%と最も多く、次いで「社会保険料納付の時間や手間が増える」と「特に影響はない」がともに21.7%となりました。

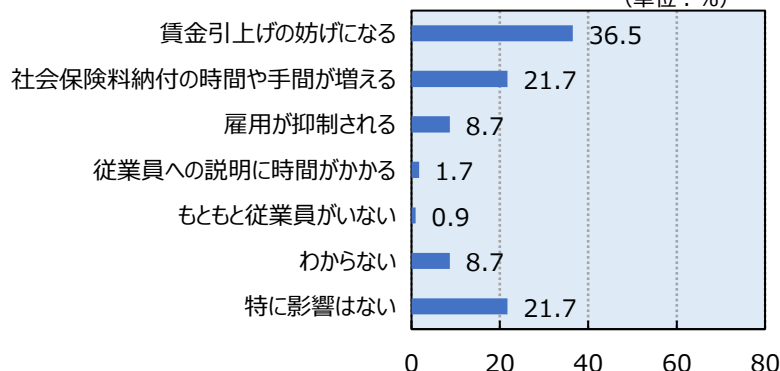
【不安感】

（単位：％）



【経営面への影響】

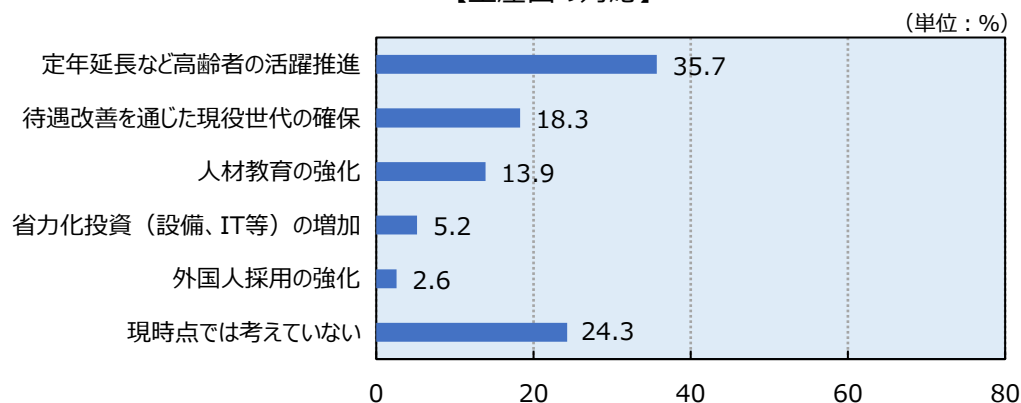
（単位：％）



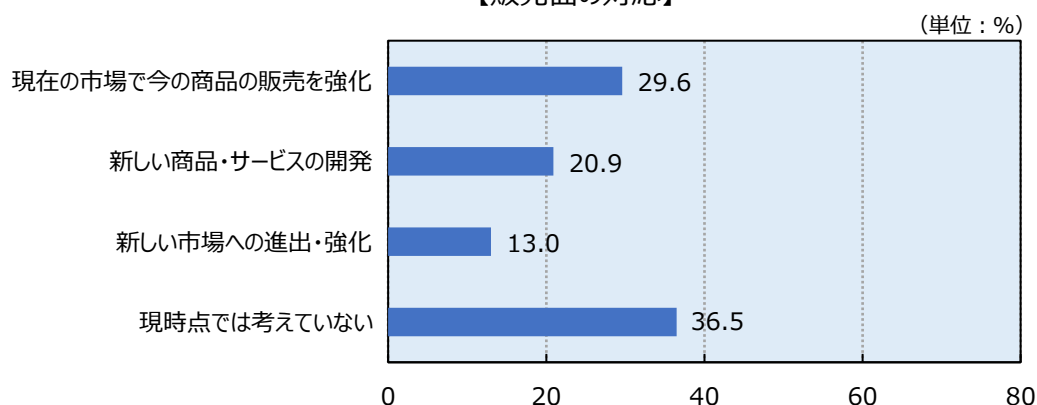
問3 わが国では、2030 年以降も人口の減少や高齢化の進展が見込まれていますが、これらに対して貴社ではどのように対応していきたいと考えていますか。生産面と販売面それぞれについてお答えください。

- 人口の減少や高齢化の進展への対応について、生産面では「定年延長など高齢者の活躍推進」が35.7%と最も多く、次いで「現時点では考えていない」が24.3%、「待遇改善を通じた現役世代の確保」が18.3%となりました。
- 販売面では、「現時点では考えていない」が36.5%と最も多く、次いで「現在の市場で今の商品の販売を強化」が29.6%、「新しい商品・サービスの開発」が20.9%となりました。

【生産面の対応】



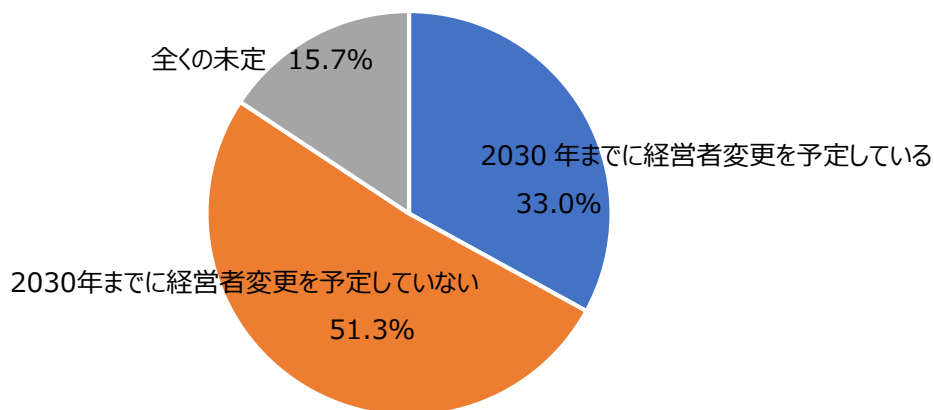
【販売面の対応】



問 4 貴社における 5 年後の 2030 年を見据えた事業承継の状況について、2030 年までに経営者の変更を予定している人は変更先を、予定していない人は貴社の状況をお答えください。

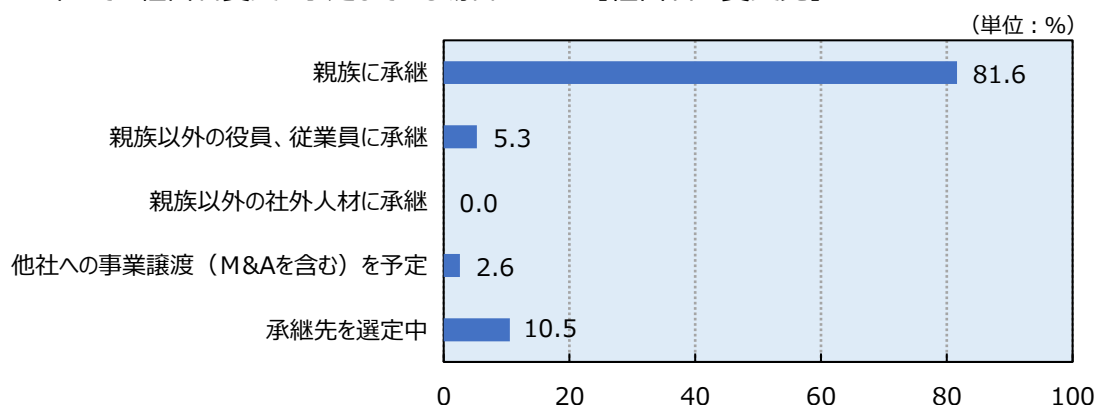
- **「2030年までに経営者変更を予定している」**と回答した企業は33.0%となりました。このうち変更先について、「親族に承継」が81.6%と最も多く、次いで「承継先を選定中」が10.5%となりました。
- **「2030年までに経営者変更を予定していない」**と回答した企業は51.3%となりました。このうち現在の状況について、「経営者が若く検討不要」が42.4%と最も多く、次いで「検討の必要性は感じているが未着手」が37.3%となりました。
- 「事業承継については全くの未定」は15.7%となり、「廃業を予定」と回答した企業はありませんでした。

【2030年を見据えた事業承継の検討状況】



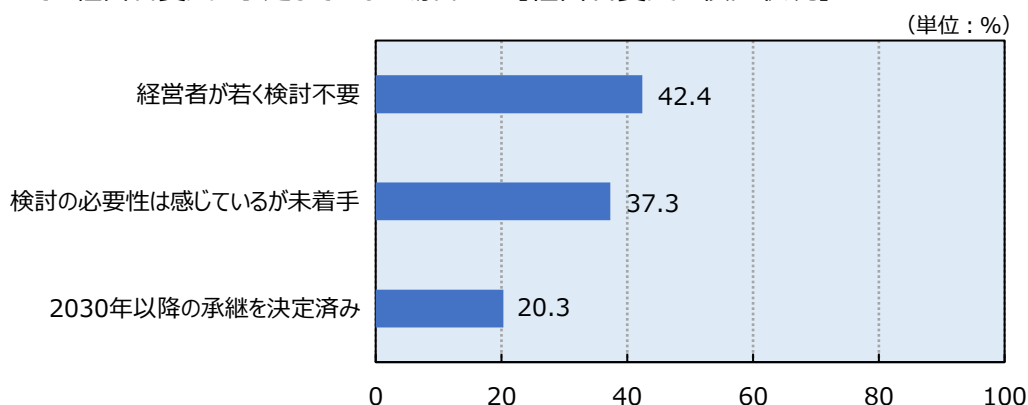
※2030年までに経営者変更を予定している場合

【経営者の変更先】



※2030年までに経営者変更を予定していない場合

【経営者変更の検討状況】



問5 貴社では、SDGs（2030年を目途とした持続可能な開発目標）にかかる以下の取組みを行っていますか。（複数回答）

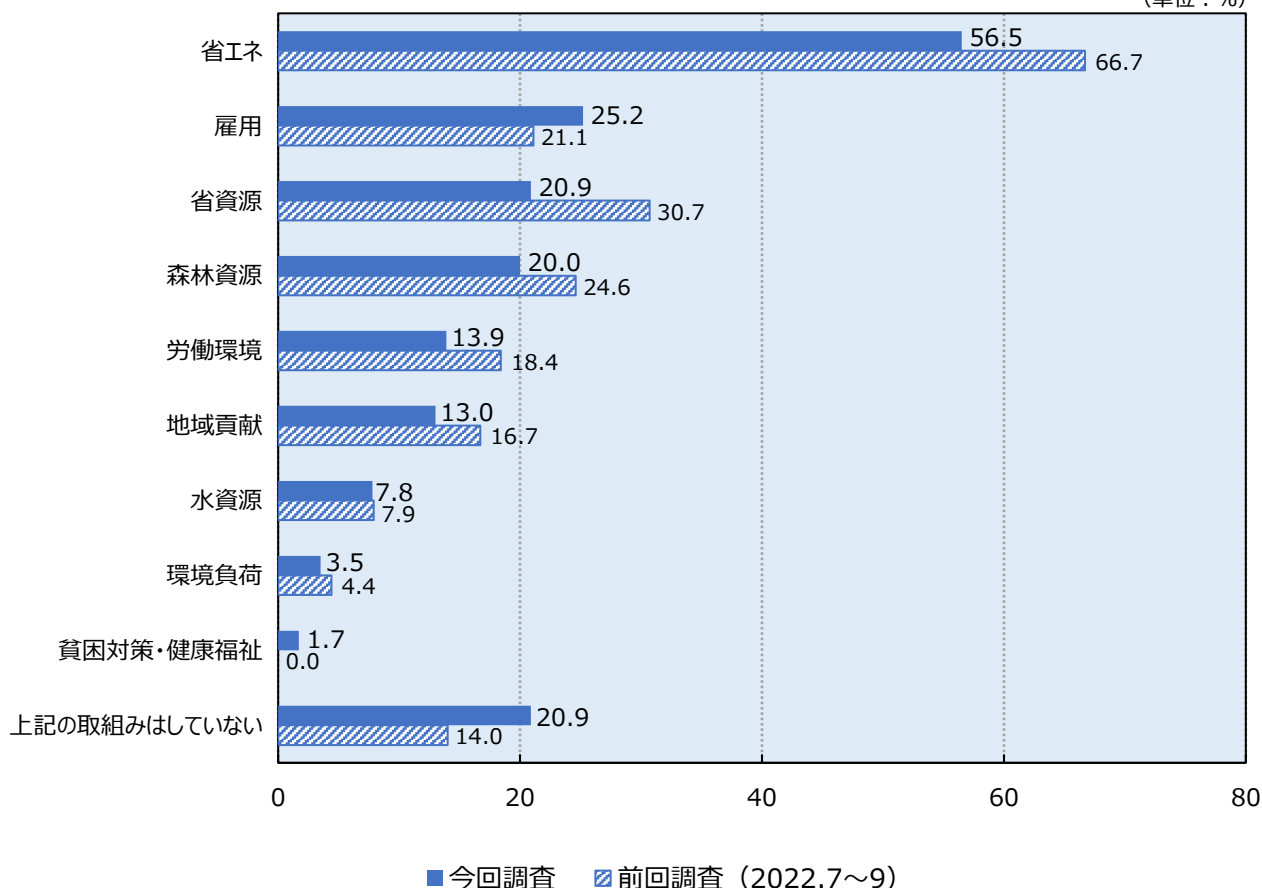
SDGs にかかる取組み

- （省エネ） 省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用
- （水資源） 水使用量削減、排水管理
- （森林資源） ペーパーレス化、緑化・植林
- （環境負荷） 環境負荷グリーン調達、カーボンオフセット、有害物質の削減
- （雇用） 女性や高齢者、障がい者、外国人等の多様な人材の雇用
- （労働環境） 研修の充実、働き方改革の実施
- （貧困対策・健康福祉） フェアトレード、途上国支援
- （地域貢献） 防犯、防災、寄付、まちづくり

- 自社における SDGs にかかる取組みについて、「省エネ」が56.5%と最も多く、次いで「雇用」が25.2%、「省資源」と「上記の取組みはしていない」がともに20.9%となりました。
- 2022年7月～9月期に行った同様の調査と比較すると、「省エネ」がともに最も多い回答となっています。また各回答の割合を見ると、「省エネ」が10.1ポイント、「省資源」が9.8ポイントそれぞれ減少している一方、「雇用」が4.2ポイント、「上記の取組みはしていない」が6.8ポイントそれぞれ増加しています。

【SDGsにかかる取組み】

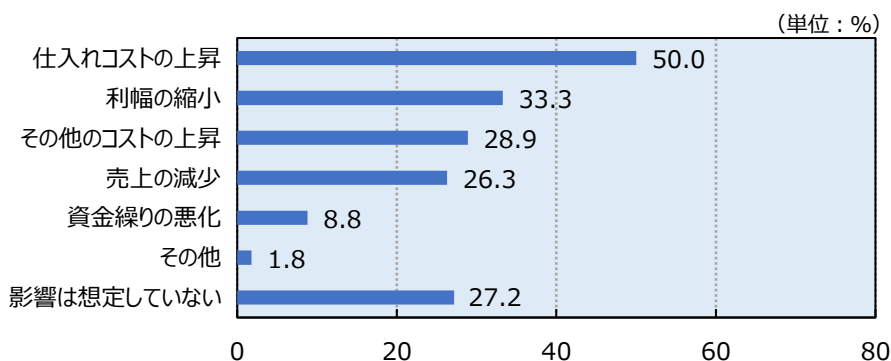
（単位：％）



米国の新たな関税措置に起因する影響について （回答企業：114 社）

問 1 米国の新たな関税措置について、貴社の業績にどんな影響があると想定しますか。（複数回答）

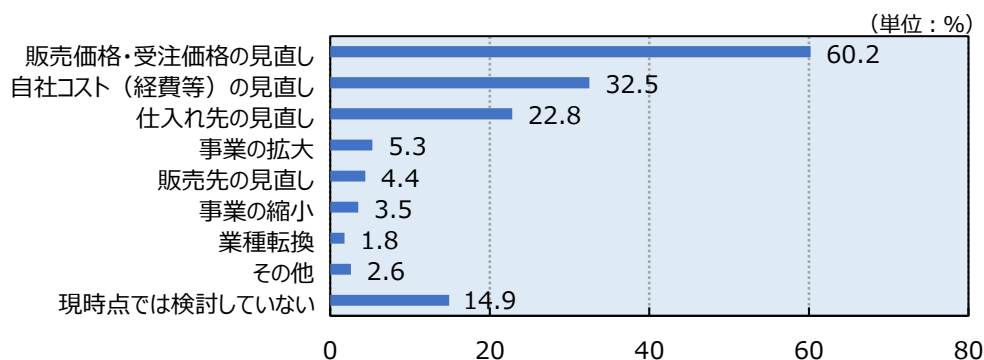
- 「仕入れコストの上昇」が 50.0%と最も多く、次いで「利幅の縮小」が 33.3%、「その他のコストの上昇」が 28.9%、「売上の減少」が 26.3%となりました。
- 「影響は想定していない」と回答した企業は 27.2%となりました。



※問 1 で「影響は想定していない」と回答した方は除く

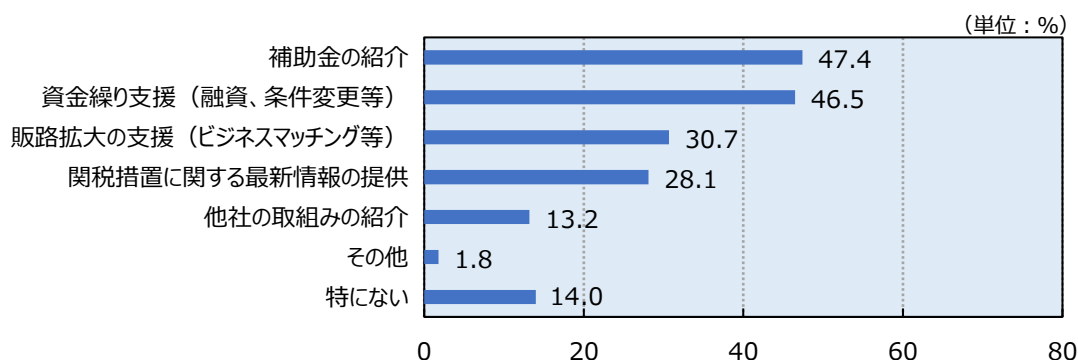
問 2 問 1 で回答した影響に対し、貴社ではどんな対応を検討していますか。（複数回答）

- 「販売価格・受注価格の見直し」が 60.2%と最も多く、次いで「自社コスト（経費等）の見直し」が 32.5%、「仕入先の見直し」が 22.8%となりました。
- 「現時点では考えていない」と回答した企業は 14.9%となりました。



問 3 信用金庫の対応について、期待することは何ですか。（複数回答）

- 「補助金の紹介」が 47.4%と最も多く、次いで「資金繰り支援（融資、条件変更等）」が 46.5%、「販路拡大の支援（ビジネスマッチング等）」が 30.7%、「関税措置に関する最新情報の提供」が 28.1%となりました。



★地域のイベント情報

FUMOTTO NIGHT MARKET（開催日：7月18日～8月31日）

⇒ナイトマーケットが山梨で初開催されます。ネオン煌めくナイトプール、提灯ストリート、縁日、屋外フードコート、ナイトBBQ等の開催が予定されています。

会場：fumotto 南アルプス（南アルプス市十日市場1571-1）

交通アクセス：中部横断自動車道南アルプス IC よりすぐ

笛吹川石和鶺鴒・石和温泉鶺鴒花火（開催日：7月20日～8月17日のうち水・木・土・日曜日）

⇒平安時代から続く伝統的な「徒歩鶺（かちう）」を実演します。徒歩鶺とは、鶺匠が川を船に乗らずに歩きながら鶺を操る、日本では珍しい石和温泉の夏の風物詩です。鶺匠体験ができる（※7/20、8/18除く）ほか、鶺飼終了後には10分間花火が打ち上げられます。

会場：笛吹市役所本館前 笛吹川（笛吹市石和町市部777）

交通アクセス：中央自動車道一宮御坂 IC より車で約10分、または JR 石和温泉駅より徒歩で約20分

橋本七夕まつり（開催日：8月1日～3日）

⇒色とりどりの七夕竹飾りを掲出し、各種ステージイベントの開催や橋本商店街を中心とした屋台の出店が行われます。

会場：JR 橋本駅北口周辺エリア

交通アクセス：JR・京王線橋本駅より徒歩で約1分

相模原納涼花火大会（開催日：9月6日）

⇒昭和26年、「情緒と水郷と鮎のまち」水郷田名の復興を願い地元の消防団が田名煙火大会としてはじめました。約1万発の花火が夏の夜空を美しく彩り、毎年約40万人の人出で賑わいます。

会場：相模川高田橋付近（相模原市中央区水郷田名）

交通アクセス：JR 相模原駅よりバスで「水郷田名」下車、徒歩で約5分

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のD I 調査では、業況D I と資金繰りD I が前期（1月～3月）比で悪化し、2期連続の悪化となりました。売上D I と収益D I は同比で改善しましたが、経営上の課題として利幅の縮小や費用の増加について挙げる企業が依然として多い状況であり、来期はすべてのD I が今期比で悪化の見通しとなりました。

米国の新たな関税措置に起因する影響について調査した結果、約7割の企業が自社への影響を想定している結果となりました。今後の見通しが不透明な中、現時点で検討している対応として、価格転嫁やコストの見直しを挙げる企業が多く見られました。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携等を通じた情報提供や課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。